

社団法人日本新体操連盟

平成18年度第2回総会議事録

1. 会議名： 平成18年度第1回総会
2. 日時： 平成19年3月24日（土） 11時00分～12時10分
3. 場所： 東京都港区西麻布3-2-32 「麻布霞会館・201号室」
4. 構成員現在数： 511名
5. 出席会員数： 312名（うち委任状出席者299名）
以下出席会員
イオン、大宮ジュニア、シェリーR.G、シェリーJr R.G、
ジャスコ貝塚、ジャスコ鈴鹿、ジャスコマリンプア、
新体操クラブメチタ、Sweet・ピュア・R・G、ピュア R.G
舞 Kids R.P.G.、大和ジュニア新体操クラブ、Ribbon新体操クラブ
6. 欠席会員数： 199名
7. 出席役員： 二木 英徳（会 長） 朝倉 正昭（副会長） 荒井 隆（専務理事）
石崎 朔子（常務理事） 関田史保子（常務理事） 渡辺 守成（常務理事）
池田真喜子（理 事） 岩本 晃（理 事） 橋本 千波（理 事）

高橋 明（副 会 長） 福本 隆（副 会 長） 上村 郁子（理 事）
崇島 慎一（理 事） 谷口 裕代（理 事） 谷原 誠（理 事）
藤島八重子（理 事） 山崎 浩子（理 事） 田中 元（監 事）
以上18名（うち委任状出席9名）
8. 欠席役員： 秋山エリカ（理 事） 岡 久留実（理 事） 佐藤 昌子（理 事）
横田 章（監 事）
以上4名
9. 議案：
決議事項
第1号議案 平成19年度・事業報告について（定款第5,29,38条関連事項）
第2号議案 平成19年度・収支予算について（定款第29,38条関連事項）
第3号議案 平成19・20年度役員改選について（定款第4章関連事項）
第4号議案 その他

10. 議事の経過及び結果

- (1) 議長による開会宣言
（社）日本新体操連盟・定款第28条の定めにより議長を会長二木英徳が勤め、開会宣言を行った。
- (2) 議事録署名人の選出
定款第32条により、議長は議事録署名人を関田史保子常務理事と橋本千波理事にする事を議場に諮り承認された。
- (3) 定足数の確認
定款第30条により総会出席者数委任状含めて312名であることが岩本晃理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。
- (4) 議決事項
第1号議案「平成19年度・事業計画」について（定款第5,29,38条関連事項）
議長は説明者として石崎朔子常務理事を指名し、石崎常務理事は下記内容の説明を行った。
 1. 「第16回全日本新体操クラブ選手権」について
平成19年8月12日から14日に掛けて「千葉ポートアリーナ」で開催。
種目は 2部リーグ ロープ・フープ・リボン
1部リーグ
シニア ロープ・フープ・クラブ・リボン
ジュニア ロープ・フープ・ボール・リボン

今年も本連盟主催全大会で有料座席指定制度を採用すること。

「クラブ選手権」が、「イオンカップ 2007」と「全日本選手権」の出場年齢資格が違う両大会への出場権を獲得できる大会であるため、「クラブ選手権」でエントリーする際は年齢資格を考慮してエントリーしてほしいこと。

ジュニア種目がここ数年続いているため、種目選定方法を検討中であること。その他変更はないことが説明された。

2. 「第7回全日本新体操クラブ団体選手権」について

平成19年9月9日に「千葉ポートアリーナ」にて開催。

種目は シニア ロープ5 ジュニア クラブ5

前回大会「混成の部」の出場数が少なかったことから、「混成の部」を「シニアの部」に統合、1クラブからの最大参加チーム数は3チームから2チームになったこと。

「全日本」への進出資格が昨年度の「シニアの部」1-2位から、「シニアの部」参加シニア構成チーム上位2チームとなったこと。

その他変更はないことが説明された。

3. 「第8回日本新体操祭」について

平成19年10月6日に「東京体育館」にて開催

1チーム5分の自由演技で行われること。

エントリーが多すぎる場合は練習時間を短縮もしくはエントリーをお断りすることがあることが説明された。

4. 「イオンカップ 2007 世界新体操クラブ選手権」について

平成19年10月5日から7日の3日間「東京体育館」にて開催

種目は シニア ロープ・フープ・クラブ・リボン

ジュニア ロープ・フープ・ボール・リボン

参加予定国が、ロシア、ウクライナ、ベラルーシ、アゼルバイジャン、ブルガリアその他競合国の予定であることが説明された。

5. 「第10回全日本新体操チャイルド選手権」

「第7回全日本新体操キッズコンテスト」について

平成20年2月22日から24日の3日間「東京体育館」にて開催

来年度以降東西予選大会での実施予定であること。

第9回大会において点数が低かったことを考慮し、配点のルール変更を行うこと

その他の変更はないことが説明された。

6. 「平成19年度セミナー」について

審判セミナー 3回

国内指導者育成セミナー 10回

海外セミナー 2回

を予定していることが説明された。

質疑・報告

1. Ribbon 新体操クラブより、「日本新体操祭」のエントリー制限について結果が早くわかる方法がないかと質問があがり、受け入れ基準チーム数が40チーム、先着順優先、という現行制度の確認の後、エントリー期日を6月末と早めることとなった。

以上の質疑の後、第1号議案「平成19年度・事業計画」について可決された。

第2号議案「平成19年度・収支予算」について（定款第29,38条関連事項）

議長は説明者として荒井隆専務理事を指名し、荒井専務理事は下記内容の説明を行った。

予算案は平成17年度実績を考慮し、作成しているため、平成17年度実績と大きく乖離があるところを重点的に説明した。

まず、収入の部の説明を行い、バッジテストが平成19年より開催し、150万円の収入を見込んでいること、

審判員認定も同じく19年度より開催し、10万円の収入を見込んでいること。

SSF補助金収入が5ヵ年計画により、今年度は60万円の収入予定であること。

支出として、バッジテストの資料作成費、開催経費として100万円の計上、

ホームページ利用者の利便性向上のため、150万円の計上、

以上から

収入の部	事業収入	264,800,000円
	会費収入	11,000,000円
	その他	604,000円
	合計	276,404,000円

支出の部	事業費	241,200,000円
	管理費	34,000,000円
	予備費	1,000,000円
大会運営引当金		204,000円
	合計	276,404,000円

となることが説明された。

質疑・報告

1. 舞 Kids R.P.G.より、クラブの会員家族から、「チャイルド選手権」のチケット収入があるため、エントリー費用が下げられないかと質問があったことが報告された。

渡辺常務理事が体育館使用料・審判費用など経費の説明を行い、収益が他の強化費用など本連盟運営費に使用されていることが説明された。

以上の質疑の後、第2号議案「平成19年度・収支予算」について可決された。

第3号議案「平成19・20年度役員改選」について（定款第4章関連事項）

議長は説明者として渡辺守成常務理事を指名し、渡辺常務理事は下記内容の説明を行った。

本連盟役員は定款第4章を基に選ばれており、1期2年とし、会長・副会長を含む理事15名以上20名以下、監事2名あるいは3名となっていること。

理事の選任は総会で行われ、役職は理事の互選によって決められること。

3月9日の本連盟理事会にて平成19・20年度役員改選委員会メンバーを二木英徳会

長と荒井隆専務理事で設置されることが決定したこと。
現行理事から佐藤昌子理事が辞退したことが説明され、
委員会案として、

理事	二木 英徳	イオン株式会社・名誉相談役
理事	朝倉 正昭	国士舘大学・教授
理事	高橋 明	博報堂健康保険組合・理事長
理事	福本 隆	無
理事	荒井 隆	日立製作所健康保険組合・常務理事
理事	石崎 朔子	日本女子体育大学・教授
理事	関田 史保子	東京女子体育大学・教授
理事	渡辺 守成	イオン株式会社イオン新体操クラブ・代表
理事	秋山 エリカ	東京女子体育大学・助教授
理事	池田 真喜子	社団法人日本新体操連盟・事務総長
理事	岩本 晃	株式会社博報堂アイ・スタジオ 代表取締役社長
理事	上村 郁代	折尾愛真学園高校・教諭（西日本地区）
理事	岡 久留実	イオン株式会社イオン新体操クラブ・コーチ
理事	崇島 慎一	共同通信社・運動部記者
理事	谷口 裕代	コスモスR G・代表
理事	谷原 誠	みらい総合法律事務所・弁護士
理事	橋本 千波	P E G A S U S U・代表（東日本地区）
理事	藤島 八重子	(有)エフ・パル代表取締役
理事	山崎 浩子	スポーツライター (有)アインス代表取締役
監事	田中 元	田中税理士事務所・所長
監事	横田 章	東洋大学・入試部長
名誉顧問	岸田 文雄	衆議院議員

上記のように提案され、

質疑・報告はなかった。

以上の質疑の後、第3号議案「平成19・20年度・役員改選」について可決された。

第4号議案「その他」について

議長は議場にその他議案の提出を諮ったが提出されなかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し総会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成 19 年 3 月 24 日

社団法人 日本新体操連盟 平成 18 年度第 2 回総会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 関 田 史 保 子

同 橋 本 千 波